



(提供先：土浦全国花火競技大会実行委員会)

今月の1枚

## 土浦全国花火競技大会

土浦市は、東に日本2位の広さを誇る霞ヶ浦、西に万葉の世から名峰と謳われた筑波山、市内には室町時代に築かれ、現在は公園として多くの市民に親しまれている土浦城（別名：亀城）跡きじょうなどがあり、自然や歴史情緒あふれるまちです。

また、毎年10月の第一土曜日には、市内を流れる桜川河川敷において「土浦全国花火競技大会」が開催されています。この花火大会の歴史は古く、大正14年に神龍寺（土浦市文京町）の住職であった秋元梅峯師あきもとばいほうが、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊と関東大震災後の不況で疲弊したまちを活性化するために、私財を投じて霞ヶ浦湖畔で花火大会を開催したことに始まります。また、秋に開催するため、農民の勤労と秋の实りも同時に祝福しています。

「土浦全国花火競技大会」は、日本有数の花火競技大会として名高く、全国から一流の花火師たちが集結します。彼らは、夏の時期に各地で開催される花火大会で自社の作品の完成具合を確認し、秋の土浦大会に向けて改良を重ね、日本一の栄冠を目指します。今年も、北は北海道、南は九州から56組の花火師たちが集い、熱い競技を繰り広げる予定です。

また、土浦の花火大会は、「スターマイン（速射連発花火）日本一」を決める大会であるともいわれています。昭和34年に競技部門として独立して以来、花火師たちは、多くの時間と労力を注ぎ込み、数百発の多種多様な花火を組合せた“土浦仕様のスペシャルスターマイン”で、土浦の夜空を華麗に彩ってきました。

この秋、日本一の花火を愛でながら、ご家族・ご友人とともに、美しく輝く秋の夜長を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

(筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆場所：茨城県土浦市佐野子桜川畔大曲付近  
アクセス：【徒歩】JR常磐線「土浦駅」から30分  
【バス】JR常磐線「土浦駅」からシャトルバスで10分